

2009年度 教育G Pフォーラム
「技術士会と連携した新たな実践的技術者教育」最終報告会
プログラム

【目的】

平成20年度より、本校が教育G P事業として推進してきた「技術士会と連携した新たな実践的技術者教育」は本年度で最終年度を迎える。最終年度にあたって、これまで2か年の事業報告および成果報告を実施し、広く社会に本事業の内容を公表するとともに、本事業の将来の展開についての指針を得るべく、本フォーラムを開催する。

【日時】 平成22年3月4日（木）13：00～17：10

【場所】 国分シビックセンター・多目的ホール

【フォーラムの内容】

1. 開会のあいさつ 13：00～13：10

鹿児島工業高等専門学校長 赤坂 裕

2. 「技術士会と連携した新たな実践的技術者教育」の事業報告 13:10～14:40

(1) 事業概要説明 (45分)

①事業全般について

教育G P事業実施責任者 岡林 巧 (鹿児島工業高等専門学校土木工学科教授)

②海外訪問調査について

教育G Pプロジェクト会議委員 榎根 健史 (鹿児島工業高等専門学校電気電子工学科講師)

(2) 共同教育実施報告 (45分)

①共同教育コーディネーター 椎 保幸 (鹿児島工業高等専門学校機械工学科准教授) (15分)

②技術士 浦島 和衛 氏 (15分)

③鹿児島工業高等専門学校学生 (2～3人) (15分)

3. パネル・ディスカッション 14:55～17:00

<テーマ> 「産業界と連携した実践的技術者教育の将来」

(1) パネリスト講演 14：55～15：40

①「技術士会と教育機関とのかかわりについて」

鹿児島県技術士会会長 後藤 祐一郎 氏 (15分)

②「地域企業と教育機関とのかかわりについて」

株式会社トヨタ車体研究所取締役社長 宮村 憲一 氏 (15分)

③「一関高専における産学COOP教育による即戦力型技術者教育について」

一関工業高等専門学校 顧問／嘱託教授 (前教務主事) 菅野 昭吉 氏 (15分)

(2) ディスカッション 15:40～17:00 (80分)

「鹿児島高専における産業界と連携した実践的技術者教育の将来の展開」

<パネリスト>

後藤祐一郎 氏 (鹿児島県技術士会会長)

宮村 憲一 氏 (株式会社トヨタ車体研究所取締役社長)

菅野 昭吉 氏 (一関工業高等専門学校 顧問/嘱託教授)

赤坂 裕 (鹿児島工業高等専門学校長)

岡林 巧 (教育 GP 事業実施責任者)

<司会>松田忠大 (教育 GP プロジェクト会議副委員長・一般教育科准教授)

4. 閉会のあいさつ

鹿児島工業高等専門学校副校長 (教務主事) 植村眞一郎 17:00~17:10

5. 情報交換会 17:30~19:30

以上